



vol. **641**

目次

- 1. 水土里ネット宮崎 令和6年度第1回監事会 ..... (2)
- 2. 水土里ネット宮崎 令和6年度第1回理事会 ..... (2)
- 3. 水土里ネット宮崎 職員永年勤続者表彰式 ..... (2)
- 4. 令和6年度水土里ネット役職員研修会を開催 ..... (3)
- 5. 宮崎県及び宮崎県議会へ予算確保に向けた要請活動を実施 ..... (4)
- 6. 第46回全国土地改良大会「千葉大会」が開催される ..... (5)
- 7. 能登半島地震への災害応援 ..... (6)
- 8. 九州「農地・水・環境保全」フォーラムin福岡が開催 ..... (7)
- 9. 非補助農業基盤整備資金について(ご案内) ..... (8)



高千穂町が一部舞台となっている TV アニメ「推しの子」に因んでデザインされた田んぼアート（高千穂町大字三田井）

## 水土里ネット宮崎 令和6年度第1回監事会

去る8月23日に本会2階役員会議室にて令和6年度第1回監事会が開催され、引き続き監査が実施された。

監事会は、徳地豊 代表監事、中田友喜 監事、甲斐昭男 監事出席のもと開催され、「令和6年度監査実施計画及び監査結果の処理方法について」、「令和6年度一般会計収入支出補正予算の理事会専決処分について」、「令和6年度第1回監査内容について」の3議案が審議され、原案どおり承認された。

その後の監査では「令和5年度事業報告並びに一般会計収入支出決算」の説明後、関係書類、財務諸表、金銭出納処理及びこれらに伴う諸帳簿、証拠書類などについていずれも適正に運営、処理されていることが確認された。



監事会の様子

## 水土里ネット宮崎 令和6年度第1回理事会

本会は、去る9月26日に2階役員会議室にて令和6年度第1回理事会を開催した。

理事会は、宮原義久 水土里ネット宮崎会長をはじめ本会の理事・監事に加え、県より城ヶ崎浩一 農村計画課長、上村一久 農村整備課長など22名出席のもと開催した。

はじめに、宮原会長が挨拶し、その後の議事では「令和5年度事業報告並びに一般会計収入支出決算の承認について」、「令和6年度一般会計収入支出補正予算(案)の承認について」、「役員報酬規程の変更(案)について」の3議案が審議され、原案どおり承認された。



理事会の様子

## 水土里ネット宮崎 職員永年勤続者表彰式

本会は、令和6年度第1回理事会終了後に職員永年勤続者表彰式を開催した。



(左)宮原会長、(右)久米田主査

### 勤続20年表彰

総務部南部事務所農村整備課主査 久米田 侑志

## 令和6年度水土里ネット役職員研修会を開催

全国水土里ネット及び本会は、去る10月4日に宮崎県土地改良会館4階研修室にて会員及び関係者約150名参加のもと、令和6年度水土里ネット役職員研修会を開催した。本研修会は、昨年度まで集中的に実施してきた複式簿記会計の研修を踏まえ、土地改良区会計における複式簿記の定着化を支援するとともに、更なる土地改良区の組織運営基盤強化を図ることを目的として開催した。



研修会の様子

はじめに、主催者を代表して浜田真郎 水土里ネット宮崎常務理事が「皆様の土地改良区は県知事の認可により設立された公共性の強い団体であることから、適正に運営されることが求められております。そこで今日は土地改良区運営の中でも特に重要な監査などについてご説明いただくこととなっております。本日の研修が会員のみなさまにとって実り多いものとなりますことを祈念いたします」と挨拶した。



浜田常務理事

その後、宮崎雅夫 都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問よりビデオメッセージによる激励が行われ、さらに進藤金日子 都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問のメッセージ文が紹介された。



飯田参与

引き続き、研修に移り、全国水土里ネット支援部の飯田博隆 参与及び金内琴美 主査が土地改良区運営の中でも特に重要な監査や老朽化する施設の更新積立計画などについて講演された。

最後に、日本政策金融公庫宮崎支店の佐藤瑞樹 課長及び増竹優子 氏が国の補助を受けない小規模な土地改良事業の実施の際、必要な資金を長期間・低金利で借り入れできる制度について講演された。

(制度の詳細については8頁に掲載)



金内主査

参加者からは、「監査のチェックポイントが良く理解できた。施設更新積立についても土地改良区で十分検討したい」などの感想があった。

### ●研修

- ①「財務諸表等の作成手続き」 (講師：金内主査)
- ②「監査実務の留意点等について」 (講師：金内主査)
- ③「財務諸表等を活用した財務分析の方法」 (講師：飯田参与)
- ④「施設更新積立計画について」 (講師：飯田参与)
- ⑤「非補助農業基盤整備資金について」 (講師：佐藤課長、増竹氏)



(左) 増竹氏、(右) 佐藤課長

## 宮崎県及び宮崎県議会へ予算確保に向けた要請活動を実施

宮崎県農業農村整備事業推進委員会(中別府尚文 委員長:国富町長)並びに本会は、去る9月26日に宮崎県及び宮崎県議会へ要請活動を実施した。

中別府委員長は、激甚化する気象災害や物価高騰に伴う事業継続地区の工期長期化など本県の農業農村における課題を解決するためには、農業水利施設の防災減災対策、基盤整備の推進、土地改良区の運営基盤強化が重要であることを訴え、下記の5項目について強く要請した。

### 【宮崎県への要請活動】

日隈俊郎 宮崎県副知事からは、「来年度予算配分についてはこれからであるが、予算確保に向け努力する。事業推進についても、地域・水土里ネット宮崎と手を取り合いながら取り組んでいく」、殿所大明 農政水産部長からは、「食料・農業・農村基本法の改正が行われ、食料安全保障の確保が掲げられた。県では第八次宮崎県農業・農村振興長期計画を制定しており、持続可能な魅力ある宮崎農業を実現するためには何より基盤整備が大事と考える。皆さんと同じ方向を向き、一体となって農業農村整備に邁進する」とそれぞれ心強い言葉をいただいた。

### 【宮崎県議会への要請活動】

濱砂守 宮崎県議会議長からは、「円安の問題もあり、燃油価格・肥料・飼料等、全ての価格が高騰し、農家が大変なのは承知している。県議会としても予算確保に向け、国へ要望する」と心強い言葉をいただいた。

### 〔要請先へ手交の様子〕



日隈俊郎 宮崎県副知事



殿所大明 農政水産部長



濱砂守 宮崎県議会議長

### 要 請 事 項

1. 食料安全保障の確保に寄与する農業農村整備事業を計画的・安定的に推進するため、物価高騰にも対応した『令和7年度県当初予算』を十分に確保すること
2. 持続可能な魅力あるみやざき農業の実現に向け、農地の大区画化やスマート農業の実装を可能とするほ場整備、高収益営農への転換を可能とする畑地かんがい施設整備などの基盤整備をより一層推進すること
3. 農村地域の国土強靱化を図るため、基幹から末端に至るまでの農業水利施設の高度化・管理の省力化のための更新整備、豪雨・耐震化対策を推進すること
4. 土地改良区の統合整備や女性理事登用の促進、多面的機能活動組織との連携など、運営基盤強化に対する支援を引き続き推進すること
5. 農業農村整備事業実施の指導的立場となる宮崎県においては、農業土木技術者の確保と、技術力維持・向上対策に努めること

## 第46回全国土地改良大会「千葉大会」が開催される

～ ふさの国から飛び立て水土里の恵み 力強く未来に繋ごう水土里の礎 ～

全国水土里ネット(二階俊博会長)と水土里ネット千葉(森英介会長)は、去る10月22日に千葉市の幕張メッセにて、第46回全国土地改良大会「千葉大会」を開催した。



水土里ネット千葉 森会長



全国水土里ネット 二階会長



千葉県 熊谷知事

大会は、農業農村整備事業の役割を広くアピールすることを目的に毎年全国持ち回りで開催されており、今年度は千葉市幕張メッセに全国から約4000名(本県出席者52名)出席のもと開催された。

式典では、森会長が開催県を代表して、「国家の基本は農業であり、魅力ある農業、住みやすい農村を実現するためには山積する課題を一つ一つ解決していかなければならない。土地改良の重要性を皆様と共有し、広く国民の皆様に応えたい」と開会挨拶した後、二階会長が主催者を代表して「千葉県は地形的に苦しめられた歴史があり、照れば渇水、降れば冠水という厳しい環境にあったが、先人達が壮大な闘いを続け、水と土の基盤を作り上げた。ご参会の皆様と、土地改良が作り上げた水土里の礎を改めて再確認し、未来に引き継いでいくことを誓いたい」と挨拶した。

引き続き、熊谷俊人 千葉県知事、神谷俊一 千葉市長(代読:橋本直明 千葉市副市長)が歓迎のこぼ、来賓の小里泰弘農林水産大臣(代読:青山健治 農林水産省農村振興局長)、桜田義孝 前衆議院議員、宮崎雅夫 都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問、進藤金日子 都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問がそれぞれ祝辞を述べた。

次に、土地改良事業功績者表彰が執り行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会会長表彰41名がそれぞれ表彰された。本県からは、児玉忠 水土里ネット一ツ瀬川前理事長(代理出席:福山三義副理事長)が農林水産省農村振興局長表彰、中田友喜 水土里ネット速日峰理事長が全国土地改良事業団体連合会会長表彰をそれぞれ受賞した。



中田理事長

その後、基調講演に移り、青山健治次長が「乗り越え、受け継ぐ土地改良」と題して講演した後、伊橋秀和 水土里ネット篠本新井理事長が優良事例紹介として「基盤整備と共に進める集落ぐるみの営農」について発表した。



基調講演の様子

大会宣言では、小沼優輝 水土里ネット東葛北部主事補と坪田咲彩 水土里ネット小糸川沿岸主事が「『ふさの国から飛び立て水土里の恵み、力強く未来に繋ごう 水土里の礎』の大会テーマのもと、農業・農村の重要性を共有し、水土里の礎を力強く未来に繋いでいく」と宣言した。



大会宣言の様子

最後に、次期開催県である佐賀県に大会旗が引き継がれ、田島健一 水土里ネット佐賀会長による次期開催挨拶が行われ、大会は盛会裡に終了した。

## 本県の土地改良事業功労者表彰受賞者

### ● 児玉忠 水土里ネットーツ瀬川前理事長が農林水産省農村振興局長表彰を受賞 ●



氏は県の農業土木職を退職後、西都市助役を経て、その後、土地改良区からの懇請を受け平成20年12月より理事に就任。任期中は、土地改良区の運営体制強化に努めるとともに、補助事業はもとより土地改良区営の事業計画・実施において、自身がこれまでに培った豊富な経験を基にした提言を行い周囲の期待に応えた。

理事長に就任した平成24年度からは、土地改良区の体制強化に積極的に取り組むとともに、経営規模の拡大を求める担い手の要望を受け、水田の基盤整備事業を推進し、地元の合意形成や関係機関との協議調整などにおいて強いリーダーシップを発揮した。

その結果、平成29年度に県営経営体育成基盤整備事業（大和地区）が採択され、現在も事業実施中である。また、本地域ではこれを契機に隣接土地改良区と共同で令和4年度に同事業（新田西地区）が採択されるなど、基盤整備事業への機運が一気に高まっている。

このように、氏の誠心誠意職務に専念する姿勢と温厚誠実で責任感の強い人柄は、地域はもとより県内土地改良区において理想のリーダー像である。さらに、今日まで豊かな経験を遺憾なく発揮し、健全な土地改良区運営に導いた功績は誠に顕著であり他の模範である。

### ● 中田友喜 水土里ネット速日峰理事長が全国土地改良事業団体連合会長賞を受賞 ●



氏は、平成2年度より開始された県営ほ場整備事業では推進委員として当初より携わり、地元の合意形成、関係機関との協議調整などにおいて中心的な役割を担うなど、円滑な事業推進に大きな役割を果たしてきた。また、本事業を契機に発足した集落営農組織「うつぎファーム」では、平成21年度の設定当初から役員を努め、現在は農事組合法人に移行し更なる農地の利用集積と共同利用機械等の整備を促進中である。

これらの実績が組合員からの信頼となり、令和2年度より理事長に就任。令和5年度には県営中山間地域総合整備事業（速日峰地区）の採択に尽力し、本地域農業の中核として活躍が期待される「うつぎファーム」への更なる農地集積と大型機械導入の実現に向けて、用排水路の改修や農道の拡幅・舗装、暗渠排水といった生産基盤の条件整備を実施中である。

更には、延岡市と地元企業が共同開発したハウス施設の自動環境制御システムを導入し、スマートフォンからの遠隔操作によって農作業の効率化を図るとともに、水稻栽培において種籾の直播きや薬剤散布等にドローンを駆使するなど、スマート農業の普及に向けた取り組みにも積極的である。

これらの実績は、地域の人々からも慕われる温厚な人柄と卓越した指導力と発言力、強い責任感や情熱の賜であり、今日まで地域農業をけん引してきた姿勢は誠に顕著であり他の模範である。

## 能登半島地震への災害応援

本会は、令和6年9月4日～27日にかけて能登半島地震における災害応援に職員2名を派遣した。

全国水土里ネットは、水土里ネット石川からの要請を受け、今年1月に発生した能登半島地震からの早期の復興・復旧に向け、全国の水土里ネットへ災害支援に係る職員の派遣を要請した。各地から職員が派遣され、本会からは永野正和 事業部計画課計画1係長並びに今山空 事業部設計課設計2係技師が派遣され、最大震度7を観測するなど甚大な被害を受けた石川県志賀町で現地調査及び農業用パイプラインの応急復旧、本復旧に向けた査定設計書及び実施設計書の作成について応援を行った。



災害派遣の様子

## 九州「農地・水・環境保全」フォーラムin福岡が開催される

### ～ 魅力あふれる故郷は 先人からの贈り物 ～

ふるさと環境フォーラム・九州連絡会(田頭喜久己会長:福岡県農地・水・環境保全協議会会長)は、去る10月28日にアクロス福岡シンフォニーホールにて九州各県から約1,100名参加のもと、九州「農地・水・環境保全」フォーラムin福岡を開催した。

本フォーラムは、多面的機能支払交付金に取り組む各活動組織や関係者が明確な目的意識のもと活発な活動を実施するためのきっかけを作るとともに、国民全般に対し情報を発信することで農山村地域が有する多面的機能を広く周知する事を目的に九州各県持ち回りで毎年開催しており、来年は宮崎県が開催県となり、10月28日にメディキット県民文化センターでの開催を予定している。

はじめに、田頭会長の主催者挨拶に続き、来賓として北林英一郎 九州農政局長、中馬俊介 福岡県農林水産部長、宮崎雅夫 全国水土里ネット多面的機能支払促進協議会顧問が挨拶した。

続いて、基調講演では気象予報士の手嶋準一 氏(日本気象協会九州支社)が「農業の多面的役割」と題して、近年の大雨災害について約50年の降水量データを示し、特に日雨量が増えている事を説明。さらに、田んぼダムによる農地の貯水量と既存ダムの貯水量を比較するなど分かりやすく解説された。基調講演後には、沖縄県、鹿児島県、佐賀県、福岡県の4つの活動組織から、それぞれ特色ある取組について事例発表が行われ、事例発表終了後には、田頭会長からそれぞれ感謝状と記念品が贈呈された。

閉会挨拶では、副会長県であり、次回開催県でもある宮崎県の浜田真郎 副会長(宮崎県多面的機能推進協議会会長)が、多くの参加者と開催県である福岡県関係者に感謝を述べた後、来年10月28日(火)宮崎市のメディキット県民文化センターでの開催について多数の参加を呼びかけ、フォーラムは盛会裡に終了した。



フォーラムの様子



田頭会長



北林局長



中馬部長



宮崎顧問



浜田副会長

## 非補助農業基盤整備資金について（ご案内）

### ◆非補助農業基盤整備資金とは

土地改良区などが国の補助を受けずに、かんがい排水事業やほ場整備事業などの土地改良事業に取り組む場合、株式会社日本政策金融公庫が農家負担の軽減を目的に、土地改良区などに対し低利で融資する資金であり、さらには、農業集落排水施設の整備や土地改良区の事務処理合理化によるシステム整備などの資金にも利用できます。

この資金は、県や市町村が単独で行う事業は勿論、農家の方が自己資金のみで事業を行う場合にも借りることができます。

### ◆融資の条件について

#### ●貸付限度額

融資1件当たりの最低額は50万円

複数年にわたる事業の場合、各年度とも土地改良区等が当該年度に負担する額まで

#### ●償還期間

最長25年（据置期間10年以内を含む。）となっており、事業内容に応じて設定できます。

#### ●償還方法

元利均等償還、元金均等償還のいずれかを選択できます。

#### ●貸付対象事業

かんがい排水、畑地かんがい、ほ場整備、暗渠排水、維持管理など、幅広い事業について融資対象としています。

#### ●貸付利率（令和6年11月18日現在）

※最新の利率は、本会、またはお近くの日本政策金融公庫にお問い合わせください。

区分	融資期間にかかわらず	融資期間別（一般）			
		5年	10年	15年	20年
補助事業 県営	1.35%	—	—	—	—
団体営	1.20%	—	—	—	—
非補助事業 一般	1.20%	—	—	—	—
利子軽減	—	—	—	—	—
災害復旧	—	0.60%	0.75%	1.05%	1.20%

### ◆ご相談・お問合せ先

宮崎県土地改良事業団体連合会総務部会員支援課（TEL：0985-24-3361（直通））